

令和4年度(2022年度)水道事業会計補正予算(第1号)について

令和4年度(2022年度)補正予算の主な内容

1. 建設改良事業予算の減額に伴い、業務の予定量を補正します。
2. 電気料金の高騰に伴い、浄・配水場の動力費及び庁舎等の光熱水費を増額します。
3. 令和4年度から令和5年度までの2か年継続事業である「築比地浄水場系基幹管路更新事業(第6工区)」の工事内容の変更及び「西部配水場設備整備事業」の事業費の確定等に伴い、総事業費及び年割額等の補正を行います。
4. 「水道マイページ」の利用促進事業に係る債務負担行為を追加します。

予算規模

業務の予定量

(単位：千円)

区 分	既 決 予 定 量	補 正 予 定 量	計
(4) 主な建設改良事業 西部配水場設備整備 工事等	2,767,000	▲187,000	2,580,000

予算の状況

収益的収支：水をつくり、ご家庭に水を届けるための財源と費用

(単位：千円)

	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
水道を届けるための 費用	6,691,900	34,000	6,725,900
支出合計	7,093,000	34,000	7,127,000

【支出】

「水道を届けるための費用」

電気料金の高騰に伴い、「原水及び浄水費」の「動力費」を3,000万円、「総係費」の「光熱水費」を400万円増額します。

補正後の支出合計は、当初予算比3,400万円増の71億2,700万円となります。

資本的収支：水道施設を整備するための財源と費用

(単位：千円)

	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
水道施設を更新・改良するための借入金	344,000	▲122,000	222,000
補助金	143,000	▲129,000	14,000
収入合計 A	1,051,000	▲251,000	800,000
水道施設を建設・改良するための費用	3,048,400	▲187,000	2,861,400
支出合計 B	4,782,000	▲187,000	4,595,000
収支差額 (A-B)	▲3,731,000	▲64,000	▲3,795,000

※収支で不足する37億9,500万円は過年度損益勘定留保資金などで補てんします。

「損益勘定留保資金」とは、減価償却費などによって留保されるもので、資本的支出の財源になります。

【収入】

「水道施設を更新・改良するための借入金」

「築比地浄水場系基幹管路更新事業」及び「西部配水場設備整備事業」の財源の一部として借り入れる「企業債」について、当初予算で3億4,400万円を計上しましたが、契約締結に伴う事業費の確定等に伴い、借入額を1億2,200万円減額し、2億2,200万円とします。

「補助金」

「西部配水場設備整備事業」の財源の一部である「国庫補助金」について、当初予算で1億4,300万円を計上しましたが、1億2,900万円減額し、1,400万円とします。

【支出】

「水道施設を建設・改良するための費用」

「築比地浄水場系基幹管路更新事業（第6工区）」の「工事請負費」について、当初予算で2億9,500万円を計上しましたが、工事内容の変更に伴い、8,100万円を減額し、2億1,400万円とします。

「西部配水場設備整備事業」の「工事請負費」について、当初予算で5億7,100万円を計上しましたが、契約締結に伴い、1億600万円減額し、4億6,500万円とします。

補正後の支出合計は、当初予算比1億8,700万円減の45億9,500万円となります。